



充実した家庭学習

連日運動会の練習に取り組んでいます。1年生も入学してから1か月余りからの取り組みですが、毎日元気な笑顔で一生懸命に取り組んでいます。今年は暑い日と涼しい日が目まぐるしく変わり、体調管理の難しさも感じています。先日は保護者の方々にも御心配と御迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。改めましてお詫び申し上げます。また、各御家庭においても体調管理や体育着の洗濯など、子供たちの活動を支えていただき感謝しています。

さて、昨年度より本校では「チャレンジデー」（昨年度は「ノー宿題デー」）を設定しています。「宿題」とは学校（教師）が、子供たちに家庭でやるべきものを課することです。ということは、子供たちにとっては「与えられてやらなければならないもの」ということとなります。そこにはあまり「自主性」や「創造性」は存在しません。あくまでやらされているものだからです。しかし、本来の学習活動は「自主性」や「創造性」がとても大切な要素となります。宿題の中にもそういったことを多く取り入れている時もありますが、もっともっと家庭学習について考え、充実した取り組みにしたいと考えています。例えば歴史に興味がある人は歴史上の人物や、出来事について調べたり、それについて自分の考えをまとめたりしながら、興味・関心のあることから取り掛かるのも一つではないでしょうか。身の回りには不思議なことがたくさんあります。「黒板は緑なのになぜ黒板っていうの？」そんな些細な疑問が学びへの意欲につながることもあります。いずれにしても「学ぶことは楽しいこと」という思いで、自ら学べる子供たちになってほしいと願っています。なんでもそうですが、何かに取り組むうえで大切なのは「楽しさ」ではないでしょうか。楽しいから欲も出るし、もっとやりたい、知りたいって思うのだと思います。



学習の目的を、経済的成功や受験合格だけと考えるのなら、オンラインで家庭教師をつけ、動画を見て勉強したほうが効率がいいのかもしれないです。しかし、学校で学ぶ意味はそれだけではないです。確かに受験もあるので知識を蓄える学習も必要ですが、子供たちが成長していく過程で、自立（自律）して生活を営める力を身につけさせてあげなければなりません。社会に出て常々学び続けることが求められています。子供たちのよりよい成長を願い、これからの家庭学習の在り方については、学校としてもしっかりと考えていきます。子供や保護者の方々からもお話を伺いながら、前に進んでいきたいと思えます。理想は大きく「宿題がない学校」「自ら考え家庭学習に取り組む学校」です。

「学ぶ」という言葉は、「教えを受けたり見習ったりして、知識・技能を身につけること」や「さまざまな経験をすることによって新たな物事を知ること・習得すること」を意味しています。「勉強する」という言葉は、「学校の科目を学ぶこと・学校の授業で学ぶこと」や「無理をしても努力して励むこと」を意味しています。「勉強する」には「知識・技能の習得のために(無理にでも)努力すること」のニュアンスがありますが、「学ぶ」には「無理にでも努力して励む」といった意味合いがありません。